



青木小学校だより

青木小HP <http://www.Aoki-Aoki-ele.ed.jp>

発行：青木村立青木小学校

発行日：令和2年12月25日

No. 154

心をつなぐシトラスリボン

【学校再開に向けて】 学校長からのメール文 《12月22日(火)配信》

青木小学校保護者 様

青木村立青木小学校
校長 塩崎 陽子

年の暮、ご多忙の中お過ごしのことと存じます。

保護者のみなさまには、本校の教育活動につきまして、日頃より多大なご協力、ご支援をいただき、大変感謝しております。ありがとうございます。

さて、このたび新型コロナウイルス感染者が本校関係者、児童に確認されたことにつきまして、多大なご心配をおかけいたしましたこと、本当に申し訳ございませんでした。

感染されたみなさまは、医師の治療や保健所のご指導の下、重症化せず、症状は寛解に向かっていると聞きしております。また、関係者の皆様にも、感染された方を全力で看病し、様々な行動制限のある中での生活は、本当につらいことだったと拝察いたします。

この間、学校としましては、保健所の指示に従い対応を進めてまいりました。県から発表された情報以外は何もわからないため、保護者のみなさまのお問い合わせに、いち早く、すべてにお応えすることができず、不安になったり歯がゆい思いをさせてしまったりしたかと思ひます。どうか、お許しください。

学校は、保健所の指導により、感染者、接触者の経過観察を行い、安全が確認されたため、青木村教育委員会の指示により、24日から再開いたします。

学校では、これまでも手洗いやうがい、手指消毒、換気、ソーシャルディスタンス等、文部科学省や県教育委員会のガイドラインに沿って、感染予防に努めてまいりましたが、今回感染者があったということを受止めに、学校施設内の消毒、子どもたちの健康観察についてさらに丁寧に行うこと、そして今一度、感染予防について確認することといたしました。

登校日初日の24日(木)には、感染予防教育を学校薬剤師さんと清泉女学院大学看護学部の教員にお願いし、クラスごとにご指導いただきます。

また、心の教育(ストレス反応とストレスケア)について、臨床心理士2名にお願いし、こちらもクラスごとに心の健康教育を行います。

そして、この臨時休校中の期間に、子どもたちは様々なことを感じ、考えていたことと思ひますので、子どもたちの状態の見守りや、カウンセリング(必要な場合)について、県スクールカウンセラー3名をお願いし、2日間、対応していただくこととしました。

また、保護者の皆様で、不安なこと等、相談したいというご希望があれば、学級担任、養護教諭、校長、教頭、スクールカウンセラーがお話を伺う体制でおりますので、遠慮無くご相談いただければと思ひます。

最後にですが、全国でも新型コロナウイルス感染者に対する差別や誹謗中傷、偏見等が後をたちません。新型コロナウイルスはもう特別な病気ではありません。誰もが感染する可能性があります。身近な人や自分が感染したらと想像すれば、差別や誹謗中傷などあり得ないと思ひます。感染者や濃厚接触者、その家族、関係者、医療従事者や日常生活を送る上で欠かせない仕事を担っている方々、接客業など人と接触することが回避できない職種の方々等への差別、偏見、いじめ、感染者捜し等は、被害者の心の傷をより深くするだけで、新型コロナウイルス感染症の拡大の解決には、全く役立ちません。

子どもたちには、このような状況の時こそ、家族、友だち、先生、地域の方など、誰に対しても、温かく優しい気持ちで接することをより一層大切にしてほしいと願っています。

青木小学校の子どもたちへの応援メッセージや、県内の中学生がシトラスリボンを作って学校に送ってくれるなど、子どもたちを支えてくれる温かな気持ちが届いております。

感染予防対策や心の健康に気を配りながら、子どもたちのために、学校教育活動を精一杯行っていく気持ちでおります。どうぞ、これからもご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

【お知らせ・お願い】

○ 新型コロナウイルス感染症による臨時休業明けの特別授業

12月14日(月)からの10日間に渡る臨時休業が明けた12月24日(木)には、すべての学級に、学校長と専門家の皆様が教室訪問し、以下のように特別授業を実施しました。また、県の「ココロのワクチンプロジェクト」をもとに人権教育、感染予防教育、心の教育を継続的に進めてまいります。

◆ 感染予防教育

「正しいマスクの使い方」「正しい手洗いや手指消毒の仕方」などについて

- ・ 学校薬剤師 櫻井翔子先生
- ・ 清泉女学院大学看護部助教 大関春美先生 による特別授業



◆ 心の教育

「ストレス反応の対処法(ストレスケア)」などについて

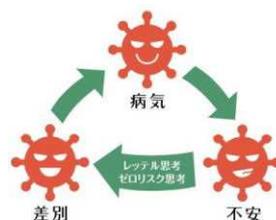
- ・ 東御市教育委員会 臨床心理士 藤田直子先生
- ・ 御代田町教育委員会 臨床心理士 岡本直人先生 による特別授業



◆ 人権教育

「3つの顔を知ろう」などについて(各担任等)

この新しい病は“3つの顔”を持っており、「病気」「不安」「差別」の3つの感染に配慮しなければなりません。この病は、不安や恐れを生み、不安が差別を生み、差別から病気を隠そうとし更に病気を広げてしまう“負のスパイラル”を生み出してしまふ恐れがあります。病気への感染予防教育はもちろんですが、正しい知識や対処法を学び、不安や恐れと向き合い和らぐよう心の教育と心のケアを進めながら、“レッテル思考”や“ゼロリスク思考”が増長しないよう生活を見返し、「誹謗中傷・差別を決してしない」人権教育に力を入れてまいります。



【「不安」や「恐れ」は誰もが持つ感情】

新型コロナウイルスをめぐる差別や誹謗中傷は、「不安」や「恐れ」がその原因です。多数の感染者が発生し、治療や対策が確立されていないことや、これまでとは大きく異なる生活をしなければならないこと、そしてウイルスそのものが目に見えないことなどから、誰もが心の中に「不安」や「恐れ」を抱いているはずで

【レッテル思考とは】

ウイルスの姿を目で見ることができません。そのため、本能的にウイルスに関係しそうな人、職種、組織などを”まとめて”遠ざけようとしています。これを「レッテル思考」といい、一度「レッテル思考」になってしまうと、相手の事情や人間性などの側面が見えなくなり、その対象を過度に攻撃してしまうことがあります。事実を見つめ、落ち着いて判断することが大切です。

【ゼロリスク思考とは】

「感染リスクに絶対近づかない、近づけない」という「ゼロリスク思考」は、差別や誹謗中傷を強める一因となります。「絶対に感染者を出してはならない」という雰囲気や「感染者=悪者」という誤ったイメージを作り出してしまふのです。リスクを完全にゼロにすることはできない、感染は誰にでも起きうることで、感染=悪ではないと認識することが大切です。

○ 学校給食用食材の放射性物質検査結果について

12/3(木) キャベツ(産地:愛知県) 放射性セシウム 不検出

【再掲載】

県の方針により、令和3年度から「学校給食用食材の放射性物質検査」は廃止となります。

【1月の予定】

8日(金) 3学期始業式	21日(木) 4年理科校外学習
12日(火) 県SC来校日 ALT来校日	児童会役員選挙教室訪問(6-1)
13日(水) 集金日 ALT来校日	22日(金) 児童会役員選挙教室訪問(4-1)
14日(木) 中学入学保護者説明会・制服採寸	来入児保護者会③ ALT来校日
15日(金) ALT来校日	25日(月) 児童会立会演説会・投票
18日(月) 児童会役員選挙教室訪問(3-1)	26日(火) 身体測定(1・2学年) ALT来校日
児童会	27日(水) 身体測定(3・4学年) ALT来校日
19日(火) 児童会役員選挙教室訪問(3-2)	29日(金) 身体測定(5・6学年) ALT来校日
6年中学体験入学 ALT来校日	